令和４年度の事業報告書（案）

令和４年　４月　１日から令和５年　３月３１日まで

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

１　事業の成果

令和４年度は、研究者、技術者及び一般市民に対して、原子分子データに関する基礎、応用分野の研究開発に関する発表会として、「原子分子データ応用フォーラムセミナー」を、核融合科学研究所「原子分子過程研究の最先端と先進的プラズマ分光計測」研究会と合同で開催した。原子分子物理の基礎研究、核融合、宇宙から環境、光源、プロセス、バイオ・医療・農業などにおける原子分子過程、原子分子データを取り上げ、基礎と応用の仲立を図り、現象のより良い理解、研究開発への寄与を図ることを目指しセミナーを行った。

「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用に関する作業部会の活動を継続して行うとともに、会報を発行するための取材、編集活動を行った。

これまでの原子分子過程、分光の物理の手法と、人工知能、データ科学の手法の融合による新しい研究手法について検討した。国際的なコード比較ワークショップに参加し原子分子データ、モデルの精度向上、高度化に向けた検討を行った。これらを元に宇宙物理（X 線天文学）のような基礎研究、EUV リソグラフィ光源開発のような応用研究の企画を行った。

インターネットを通じた研究情報の迅速な発信に努めるとともに、研究者、技術者の間のネットワーキングの構築を進めた。また、研究会での学生の研究発表を通じて分野の専門家の育成に努めた。特にコロナ禍を克服するための web 会議、SNS などの技術の活用に努めた。

以上の活動により、会員である原子分子データの生産者と利用者の間で活発な討論が行われ、一般市民に対しても原子分子データの利用、普及に寄与する活動ができたと考えている。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事 業 名 （定款に記載した事業）	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 （単位：千円）
(1)原子分子データベースの構築と利用・普及を推進するための事業	フォーラムの活動方針、分科会活動、データベースの構築、利用、普及についての検討会の開催	(A) 令和 4 年 9 月 28 日 (B) 核融合科学研究所（オンライン） (C) 4	(D) 研究者、技術者 (E) 20	0

	原子分子物理の基礎研究、核融合、宇宙から環境、光源、プロセス、バイオ・医療・農業における原子分子データ、原子分子過程に関する「原子分子データ応用フォーラムセミナー」の開催	(A) 令和 4 年 12 月 21-23 日 (B) 核融合科学研究所(オンライン) (C) 10	(D) 研究者、技術者、一般市民 (E) 70	141
(2)原子分子データの生産者と利用者に対するインターネットを活用した情報の提供および、相互のコミュニケーションを促進するための事業	原子分子データ応用フォーラムホームページ、メーリングリストの整備	(A) 随時 (B)法人事務所 (C) 2	(D) 研究者、技術者、一般市民 (E)500	16
	原子分子データに関する研究情報、会合情報などのホームページへの掲載	(A) 随時 (B)法人事務所 (C) 2	(D) 研究者、技術者、一般市民 (E) 500	0
	機関誌の発行および配布の準備	(A) 随時 (B)法人事務所 (C) 4	(D) 研究者、技術者、一般市民 (E) 500	0
(3)国際会議、シンポジウム、研究会、講習会、研修会の開催、共催、協賛に関する事業	ISPlasma 2023 会議の協賛	(A) 令和 5 年 3 月 5 日-3 月 9 日 (B) 岐阜大学 (C) 1	(D) 研究者、技術者、一般市民 (E) 400	0

令和4年度　活動計算書(案)

令和4年　4月　1日から令和5年　3月31日まで

単位：円

特定非営利活動法人 原子分子データ応用フォーラム

科　目	金　額		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
正会員入会金	0		
正会員受取会費	40,000		
賛助会員受取会費	30,000	70,000	
2　事業収益			
1)原子分子データベース構築、普及事業収益	0		
2)インターネット情報提供事業収益	0		
3)国際会議、シンポジウム等開催事業収益	0		
4)国内外における研究連携窓口事業収益	0		
5)国際会議等への講師紹介派遣事業収益	0		
6)教育プログラム開発、教育支援事業収益	0		
7)書籍、機器、ソフトウエア等紹介事業収益	0		
8)書籍、電子媒体、グッズ等製作販売事業収益	0	0	
3　受取寄付金			
受取寄付金	0		
ボランティア受け入れ評価益	140,000		
施設等受け入れ評価益	1,600	141,600	
4　その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0	0	
経常収益計（A）			211,600
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費			
給料手当	0		
ボランティア評価費用	140,000		
人件費計	140,000		
(2)その他経費			
セミナー事業費	0		
通信運搬費	16,060		
施設等評価費用	1,600		
その他経費計	17,660		
事業費計		157,660	
2　管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
人件費計	0		
(2)その他経費計			
備品費	0		

消耗品費	0		
通信費	84		
賃借料	42,915		
諸会費	0		
交際費	0		
租税公課	0		
支払手数料	0		
雑費	0		
その他経費計	42,999		
管理費計		42,999	
経常費用計（B）			200,659
当期経常増減額（A）－（B）			10,941
Ⅲ　経常外収益			
1　固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
Ⅳ　経常外費用			
1　過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			10,941
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			10,941
前期繰越正味財産額			96,979
次期繰越正味財産額			107,920

計算書類の注記

１.重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年７月20日　2017年12月12日最終改正　NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また計上額の算定方法は「2.　施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(2) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。

また経常額の算定方法は「3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

2. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法
核融合科学研究所テレビ会議システムの無償利用	1,600	核融合科学研究所では利用料金を設定していないため、100人までが参加できるZOOMテレビ会議システムの利用料（月額1600円を1か月分相当）から算定しています。

3. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

（単位：円）

内容	金額	算定方法
非会員によるフォーラムセミナーでの情報提供 7,000円ｘ20人	140,000	単価は大学等教員への20分の講演発表謝礼の相場により算定しています。

令和4年度　貸借対照表

令和5年　3月31日現在

特定非営利活動法人　原子分子データ応用フォーラム

科　目　・　摘　要	金　額（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	3,009		
普通預金　十六銀行妻木下石支店	83,672		
普通預金　郵貯銀行	21,239		
未収会費	22,000		
流動資産合計		129,920	
2　固定資産			
（1）有形固定資産			
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
（2）無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
（3）投資その他の資産			
定期預金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			129,920
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受会費	22,000		
未払い金	0		
流動負債合計		22,000	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			22,000
三　正味財産の部			
前期繰越正味財産		96,979	
当期正味財産増減額		10,941	
正味財産合計			107,920
負債及び正味財産合計			129,920

財産目録

令和5年　3月31日現在

特定非営利活動法人　原子分子データ応用フォーラム

科　目　・　摘　要	金　額（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
手元現金	3,009		
普通預金　十六銀行妻木下石支店	83,672		
普通預金　郵貯銀行	21,239		
未収会費（2020~2022年度会費）	22,000		
流動資産合計		129,920	
2　固定資産			
（1）有形固定資産			
什器備品			
有形固定資産計	0		
（2）無形固定資産			
ソフトウェア	0		
無形固定資産計	0		
（3）投資その他の資産			
定期預金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			129,920
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受会費	22,000		
未払い金	0		
流動負債合計		22,000	
2　固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			22,000
正味財産			107,920

資料３

監査報告書

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム
理事長　鈴木　泉　殿

令和５年５月２９日
特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

監事　中村　信行

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラムの令和４年度（令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行いました。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、必要と認める場合には質問を行いました。また、経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たっては、証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び令和４年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラムの令和５年３月３１日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認めます。

以上

令和５年度　事業計画（令和５年４月１日～令和６年３月 31 日）

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

1. 事業実施の方針

令和５年度は、研究者、技術者及び一般市民に対する、原子分子データに関する基礎、応用分野の研究開発に関する発表会として、「原子分子データ応用セミナー」を開催し、その成果をまとめた資料集の発行、ホームページでの公開を行う。宇宙物理、核融合などの基礎研究および、半導体製造、光源などの応用技術、バイオ・医療、農業、環境などの応用分野におけるさまざまな研究で重要な原子分子過程を取り上げ、セミナーを開催する。核融合科学研究所の原子分子データに関する研究会活動との有効な連携方法について、これまでの参加者からの意見、意向を踏まえて検討し、より良い研究会の企画の立案を図る。そして、基礎と応用の研究者、技術者の間で議論、情報交換を行う環境の整備を行う。

これらにおいて、データサイエンス、人工知能（機械学習）を活用した画期的な新手法を導入することにより、原子分子データベースの構築、利用・普及を大幅に効率化するとともに、これまでの汎用的な原子分子データベースとともに、それぞれの応用分野で解析の対象となる原子分子に適したデータベースの技術の調査から実装までを目指した活動を行う。

「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会、「SNS の活用に関する作業部会」の活動を継続して行う。また、オンラインの環境でのフォーラムの効率的で円滑な活動の方法について検討する。 会報に関し、原子分子データのシーズを提供する研究室の紹介の連載など、会報の有効な活用方法について検討を継続する。

これらの活動を通して科学技術の促進、知識の普及、原子分子データに関する基礎、応用分野の研究開発の進歩並びに知識の普及を図る。

2. 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び人数目標	支出見込み額（千円）
(1)原子分子データベースの構築と利用・普及を推進するための事業	原子分子データの基礎、応用分野の研究開発に関する「原子分子データ応用セミナー」の開催	12 月	核融合科学研究所	10 人	研究者、技術者及び一般市民（80 人）	80
	「原子分子データ応用セミナー」の講演資料集の製作	1 月	法人事務所	2 人	研究者、技術者及び一般市民(200 人)	10

	原子分子データの基礎、応用分野の研究開発動向調査および、法人運営方針を議論する検討会の開催	5月、9月	核融合科学研究所	5人	研究者、技術者（50人）	0
	国内外の原子分子データベース活動の情報の集約と普及活動	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者及び一般市民(200人)	0
	「プラズマシミュレーションに用いるレート係数の推算方法の調査」分科会の活動。	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者（50人）	0 (1)支出合計予定 90
(2)原子分子データの生産者と利用者に対するインターネットを活用した情報の提供および、相互のコミュニケーションを促進するための事業	原子分子データに関する、インターネット上のホームページ、メーリングリストの運営	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者及び一般市民(200人)	16
	「SNS活用に関する作業部会」による、コミュニティ構築、「研究者データベース」「欲しいものリスト」構築の検討	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者（50人）	0
	原子分子データに関する研究情報、会合情報などのホームページへの掲載及び、機関誌の発行及び配布	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者及び一般市民(200人)	0 (2)支出合計予定 16
(3)国際会議、シンポジウム、研究会、講習会、研修会の開催、共催、協賛に関する事業	原子分子データの基礎、応用分野の研究開発に関連が深い、国際会議、シンポジウム、研究会、講習会、研修会の共催、協賛。	随時	法人事務所	1人	研究者、技術者及び一般市民(200人)	0
(4)国内外における研究活動連携のための窓口事業	原子分子データに関する研究活動連携を推進するためのシーズとニーズに関する情報紹介	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者（100人）	0
(5)国際会議、シンポジウム、研究会、講習会、研修会への講師の紹介と派遣に関する事業	原子分子データの基礎、応用分野の研究開発に関連が深い、国際会議、シンポジウム、研究会、講習会、研修会への講師の紹介、派遣。	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者及び一般市民(100人)	0
(6)教育プログラムの開発及び教育の実施の支援に関する事業	原子分子データに関する教育プログラムの開発と教育の実施を支援する。	随時	法人事務所	1人	研究者、技術者及び一般市民(100人)	0
(7)書籍、研究開発用機器、ソフトウエアの紹介に関する事業	インターネットホームページ、機関誌において、書籍、研究開発用機器等の紹介。	随時	法人事務所	1人	研究者、技術者（50人）	0
(8)書籍、ソフトウエア、データ集等の電子媒体その他の販売に関する事業	原子分子データの基礎、応用研究に関する資料、解析用ソフトウエア、データ、および啓発、知識普及のためのグッズの製作、輸入、販売を行なう。	随時	法人事務所	3人	研究者、技術者及び一般市民(100人)	0

令和５年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書（案）

令和 5 年　4　月　1　日から令和　6　年　3　月　31　日まで

（単位　円）

特定非営利活動法人原子分子データ応用フォーラム

科　目　・　摘　要	金　額		
Ⅰ　収入の部			
１　会費・入会金収入			
入会金収入	0		
会費収入	70,000	70,000	
２　事業収入			
(1) 原子分子データベース構築、普及事業収入	90,000		
(2)インターネット情報提供事業収入	0		
(3)国際会議、シンポジウム等の開催事業収入	0		
(4)国内外における研究連携窓口事業収入	0		
(5)国際会議等への講師紹介派遣事業収入	0		
(6)教育プログラム開発、教育支援事業収入	0		
(7)書籍、機器、ソフトウエア等紹介事業収入	0		
(8)書籍、電子媒体、グッズ等製作販売事業収入	0	90,000	
３　その他の収入			
寄付金収入	0		
補助金収入	0	0	
当期収入合計（A）		160,000	
前期繰越収支差額		107,920	
収入合計（B）			267,920
Ⅱ　支出の部			
１　事業費			
(1)原子分子データベース構築、普及事業費	90,000		
(2)インターネット情報提供事業費	16,060		
(3)国際会議、シンポジウム等の開催事業費	0		
(4)国内外における研究連携窓口事業費	0		
(5)国際会議等への講師紹介派遣事業費	0		
(6)教育プログラム開発、教育支援事業費	0		
(7)書籍、機器、ソフトウエア等紹介事業費	0		
(8)書籍、電子媒体、グッズ等製作販売事業費	0	106,060	
２　管理費			
役員報酬	0		
事務所借料	43,050		
備品費	0		
消耗品費	1,000		
通信費	1,000		
租税公課	0		
法人税等	0		
雑費	8,890	53,940	
３　予備費			

予備費	0	0	
当期支出合計（C）			160,000
当期収支差額（A）ー（C）			0
次期繰越収支差額（B）－（C）			107,920

資料６

第５号議案 役員の改選

役員の任期満了に伴い、役員の改選を行います。

令和　５年度～令和６年度 役員候補
(任期 令和５年７月１日～令和６年６月３０日)
理事長 鈴木(村上) 泉
副理事長 佐々木 明
理事 田沼 肇
監事 中村 信行

第６号議案 会報担当係

令和５年度の会報担当係を以下のように提案する。
(係の内容：会報の作成および発行)

担当係 坂上 裕之 、星野正光

第7号議案 令和５年度のフォーラムセミナー
令和５年度のフォーラムセミナーの開催日程を以下のように提案する.
日時：令和５年12月20日（水）～ 22日（金）
場所：核融合研
目的：昨年度に引き続き、核融合科学研究所の共同研究「プラズマの分光診断と原子分子過程研究の研究フロンティア」（代表 蓮尾昌裕・京大）との合同研究会として開催する。昨年同様、TWG（Technical Working Group）を設けて企画を検討して開催し、関係する多くの研究者などの間で情報交換が行えるようにする。
担当役員 佐々木明、村上泉、田沼肇
担当係 鈴木千尋